

### 17.1 回目の菖蒲町住民投票での投票行動

問15 菖蒲町では2年前にも、合併の相手先を問う住民投票が行われましたが、この住民投票では、あなたは投票しましたか。(菖蒲町のみ設問)

		%	有効%
1. 投票した	347	76.6	77.8
2. 投票しなかった	74	16.3	16.6
3. 投票権がなかった	25	5.5	5.6
有効回答数	446	98.5	100.0
無回答・他	7	1.5	
合計	453	100.0	

また、どの選択肢に投票しましたか。

		%	有効%
1. 久喜市・鷲宮町と合併	158	35.4	46.2
2. 蓮田市・白岡町と合併	140	31.4	40.9
3. 合併しない	44	9.9	12.9
有効回答数	342	76.7	100.0
非該当	97	21.7	
無回答・他	7	1.6	
合計	446	100.0	

合併に関して2度の住民投票を行った菖蒲町では、1回目の住民投票は町議選との同日実施だったこともあって投票率は約78%を記録したが、2回目の今回の住民投票では約60%にまで落ち込んだ。そのため計算上は、1回目は投票し2回目は棄権した有権者が少なくとも全有権者の2割程度いるのだが、そうした人からの回答はあまり得られず、1回目の住民投票で「投票した」人のうち、2回目の住民投票でも投票したと答えた人は約9割に上った。

投票先に着目すると、実際の投票結果（「蓮田市・白岡町と合併」が「久喜市・鷲宮町と合併」を18票上回った）と異なり、「久喜市・鷲宮町と合併」の割合が少々高いが、2回目の投票先とのクロスデータから興味深いことが明らかとなった。1回目の投票で「蓮田市・白岡町と合併」を選択した人は、2回目の投票でも8割弱が賛成票を投じている一方、1回目の投票で「久喜市・鷲宮町と合併」を選択した人では、2回目の投票で8割弱が反対票を投じたと回答している。また、1回目の投票で「合併しない」に投票した人は、2回目の投票でもほぼ全員が反対に投票したと答えている。